

令和7年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会 議 名	タウンミーティング【手をつなぐ育成会】
開催日時	令和7年9月29日（月）午前10時～11時30分
場 所	川島町役場 2階 中会議室
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	子供たちが住み慣れた川島町で元気に安心して暮らしていけるように ① 防災に関して（防災カード・災害時等） ② 福祉に関して（スペシャリスト・交通の便・環境・住むところ・人材不足・農業等の働く場 等） ③ 川島町全体のこれから
出席者	団体：手をつなぐ育成会 20名 社会福祉協議会 町：町長、総務課、健康福祉課、秘書室
【懇談内容】 ① 防災に関して（防災カード・災害時等） 団体：洪水・地震ハザードマップ説明会で、避難（教室などに）した場合「障がい児・者は大騒ぎしたり大きな声が出るので1部屋用意してほしい」とお願いしたら「皆さん慌てたりしているので、それはできません」と言われました。過去の災害時では配慮していただけました。障がい児・者の避難する部屋や受付の対応は考慮されないのですか？ 町長：まず、職員が失礼な言い方になってしまったというご指摘につきましては、申し訳ございませんでした。 避難所の開設につきましては、災害の種類・規模によって違ってまいります。 まずは、主要な避難所を開設しますが、職員全員がすぐ駆けつけることができるとは限りません。まずは命を守るため、できるだけ町外の親戚・知人宅へ町外避難の確保に努めてほしいと考えております。その上で、災害規模に沿った避難所、障がい者の方が避難するお部屋の対応をさせていただきます。 また、福祉避難所につきましては、一般の避難所を開設したあとに、民間事業者	

のお力をお借りして開設します。

団体：避難所開設について、職員間で共通認識をお願いしたい。

人によって対応が違ってしまうと混乱してしまいます。

町長：承知しました。職員によって対応が異なることがないように、職員間での話し合いを徹底してまいります。

団体：避難所の場所の希望は聞いてもらえますか。

町長：災害規模にもよりますが、混乱している中で、この避難所がいいという希望を聞くのは難しいと考えます。まずは命を守ることを最優先に考えます。

団体：防災カードを作りましたが、その後うまく管理、活用されていますか？

防災カードも含め、配慮が必要な方々の対応、職員間での共有、町民に対しての周知などが統一されると、災害時も乗り越えられる気がします。

町長：防災カードにつきましては、うまく活用できていないのが現状です。

障がいのある方など手助けを必要とする方に対して、自治会、自主防災会、民生委員など地域が連携して支援をしていく制度ですが、個人情報の観点から情報共有が難しいようです。身近な活用のアイデアがあればお伺いしたいと思います。

団体：何かいいアイデアがあれば、こちらからもお伝えします。

団体：水害の時、今は町外避難できますが、5年後、10年後はわからないので、心配です。

町長：近年は、地球温暖化による異常気象で、台風だけではなく、線状降水帯も多く発生しています。台風はある程度予測できますが、突然発生する短時間の豪雨は町でも対応に苦慮しています。

避難情報については、町から適宜情報発信を行ってまいります。災害時には、地域で支え合う共助が重要になります。日頃から地域との繋がりを持つことで災害時の対応もスムーズになるかと思います。

いずれにいたしましても、すぐに解決策が見つかるものではないので、大きな課題として、今後も解決策を模索してまいります。

団体：福祉避難所の開設の流れ、開設後の事などを具体的に知りたいです。

総務課：水害時は町外避難を原則としていますが、町の要請に基づき、福祉避難所を開設し、要援護者や一般の避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする方の受け入れの調整を行います。施設を利用する必要がある場合は、対象者の住所、氏名、心身の状況等の確認を行ってから施設利用することになり、生活

に必要な物資は町が支給することになります。水害時は2施設、地震発生時は6施設と協定を結んでいます。

団体：多額の予算をどう使うか…すごいお仕事だと思います。是非、町民の安心安全の為にお使いください。議員さんのプリントを見ると「町民ではできない除草や工事をした」とありました。どういう順番でそのように予算配分をしているのか気になります。停電（夏場）と洪水から川島町を守ってくれるようお願いします。

町長：予算配分につきましては、今年度、行政サービスを維持していくための経常経費が川島町は90%を超えており、残り10%を当該年度にあった支出に充てることになります。予算配分は各担当課と十分話し合い、直近で実施しなければならないのかなどを精査し、決定します。要望のすべてに対応できればいいのですが、取捨選択をし、タイミングにあった配分をしています。

② 福祉に関して（スペシャリスト・交通の便・環境・住むところ・人材不足・農業等の働く場 等）

団体：健康福祉課での障がい者福祉に関する情報や制度、事業所などに精通した職員（長く在職する）の配置についてのお考えをお聞きしたいです。

町長：健康福祉課における職員は、幅広い知識を持ち、その方に必要な情報をお伝えできることが大切だと感じています。そのため、短期で異動というのは考えていません。しかしながら、入って10年くらいの若手職員は、人材育成のため3か所程度異動し、多くの職員に福祉を経験してほしいと考えています。10年以上（主査以上）の職員は長く福祉を経験した方が適切なサービスを提供できると思いますので、これらを踏まえて職員配置をしたいと考えています。一度に職員が異動することがないように、サービスを切らさないようにしてまいります。

団体：交通の便がもっと良くなってほしいです。高校生の駅までの送迎ボランティアのようなものが、弱者にも広がって欲しいです。

町長：川島町にとって交通の便は大きな課題として認識しております。送迎ボランティアにつきましては、町のバスを貸し出しするなどの援助はできますが、全地域に運行するのは予算的にも厳しい状況です。

現在は、「かわみんタクシー」を運行していますが、すべての方に満足していただいているわけではありません。これまで循環バスなど、さまざまな施策を進めてまいりましたが、路線バスとの兼ね合いもあり、現在も議論しているところです。より多くの方に満足していただける施策を模索してまいります。

団体：町民会館のスロープなど、障がい者が過ごしやすい環境が増えて欲しいです。

町長：現在は、ユニバーサルデザインと言われ、県の条例で定められており、新しい建物を建てる時はバリアフリーの基準が設けられています。それ以前の建物は基準がなかったのですが、公共施設においては改修をしており、各地区集会所につきましては、改修の費用の一部を補助しています。

団体：町民会館の舞台に上がるとき、スロープが常設されていません。設置するのを大変そうにしていました。

町長：それは失礼いたしました。確認し、検討します。

団体：将来の住むところが川島に無く不安です。介助者（ヘルパー等）も足りないですし、増えていない感じがします。福祉サービスについてのお考えは？

町長：人材不足は自治体も例外ではなく、どこも大変な課題だと認識しております。特に福祉の仕事は大変で賃金が安いというイメージがあり、そのイメージを払拭できるような支援を考えていく必要があると考えております。このままでは福祉が衰退してしまいますので、アイデアをいただきながら、町としてできることを進めてまいりたいと思います。

団体：障がい者福祉への取り組み（特に重度の人への）のお考えをお聞きしたいです。

町長：町では、障がい者やご家族、事業者の方々の多様なニーズに対応するため、「かわじま自立・共生プラン 2024」を策定しております。共生社会の実現のため、障がいの有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるよう、地域と関係機関が一体となって共生社会を支えていくことが計画の根幹となっています。

重度心身障がい者の方への支援としては、在宅での日常生活において重度の障がいゆえに特に必要とされる介護等の負担を軽減するための「特別障害者手当（障害児福祉手当）」、在宅重度心身障がい者の経済的・精神的負担の軽減を図るための「在宅重度心身障害者手当」等のサービスを実施しているところです。

町としても必要な支援を検討してまいりたいと考えており、皆様が必要としている支援が何かをお伺いしながら、支援を進めてまいりたいと思います。

団体：障がい者の働く場として、農福連携のお話を伺いました。単純に考えると体力面が心配です。栽培システムが整ったところなら可能かもと考えます。体力的に厳しい障がい者にもできるような仕事が町に増えると嬉しいです。

町長：廃校を利用した農福連携を実施したいと考えており、現在相手方をトップセールスで探している状況です。いい報告ができるよう一生懸命頑張っているところで

すので、いい情報があれば教えていただきたいと思います。直接足を運んで説明させていただきます。

③ 川島町全体のこれから

団体：川島町全体のこれからについて、町長のお考えをお聞かせください。

町長：時代の流れに乗って、町を変えたいという思いでおりますが、すぐに変わるものではありません。まずは職員・町民の皆様の意識改革が必要になってきます。皆さんが前向きに考えていければ、いい方向に進むと思いますので、そういったまちづくりを進めていきたいと考えております。

現在、進めている事業につきましては、まず、インター南 29ha の開発ですが、早ければ来年の夏頃には開発を進めることができるのではと考えています。そこで何を誘致するかが重要になってまいります。物流系が主流になるところを、できるだけ生産系を誘致したいと思い、現在、足で稼いでいるところです。ネームバリューも必要だと思いますので、知名度の高い企業を誘致できたらと考えています。

また、ベイシア電機付近にルートインホテルが建設予定となっており、順調に行けば令和 8 年 2 月頃から工事が開始する予定です。できるだけ早く工事が進むようお願いしているところです。

さらに、鳥羽井沼をグランピング施設として生まれ変わるよう事業を進めているところです。行政側の支出はなく、上尾の事業者の方に委託したところです。来年、桜の咲くころにはオープンできるかと思います。現在、オープンに向けて従業員を募集しております。地域の方を優先に採用を考えておりますので、ご協力いただければと思います。

そのほか、温めているプランがありますので、今後お示しできればと考えております。

団体：廃校についてはどうお考えですか？

町長：廃校については、処分する方向で考えております。施設関係は、全国的にも廃校利用が課題となっておりますが、小学校等を別の目的で使用するのは難しいのが現状です。土地利用に関しては、法律上用途変更の手続きは厳しく、高いハードルです。処分時の解体費用は高額になりますが、耐用年数等を考慮し、5 年 10 年を見据えたときに、よりよい選択となると考えております。